



ラベンダースティック作りを終えて

毎年この季節になると、頑張って作らなきゃ・・・と思うのがラベンダースティックです。花が遅れていて心配していましたが、当日は、天候にも恵まれ、朝一で刈り取ることが出来て、沢山の人が遠方から来ていただき充実した一時を過ごせました。又、男の方が多かったことに驚きました。

ヒポクラテスの時代に遡るハーブの歴史が、西洋医学で薬害に悩まされ、近年、第三医学(予防医学)、免疫力を高めるとして、注目されています。

ハーブを愛する一人として、皆さんのお役に立てるととても嬉しいし、これからも色々企画を立て、香りの谷をパートナー仲間を紹介したいと思います。



黒澤和子さん

イベントの反省会はバーベキュー(7月12日)
バーベキュー当日は、午後から雨という天気予報。会場屋根のある所だから実施と決まったものの内心は「グリーン工房で焼きそばでも良いのにな。」と思っていた。でもそんな考えも午前中の作業を終え終え、バーベキュー広場に着くと吹き飛んだ。幸いなことに雨も降らず、肉、野菜、焼きそば、差し入れの漬物等と盛り沢山のメニュー。参加費400円でリッチな気分になった至福の一時だった。



宇野康子さん



朝の打ち合わせ



受付のお花



受付の準備



お子さんも上手です。



こうするといいのよ。



お父さんも一生懸命!



バーベキューは楽しかったね!

ガーデナーズ倶楽部

7月28日第14回講習会
(管理センター多目的ホール)



8ヶ月間の活動を振り返って

私達会員は、吉川和雄先生のご指導のもとで、ワイルドバルブガーデンのリニューアルをめざし、毎月2回木曜日の午前中に集まり、楽しく勉強しながら頑張って活動しています。私は2期生で今年の1月からの参加なので約4ヶ月間は講習を中心とした内容でした。その内容は、改めてガーデニングの奥深さ、楽しさを知るきっかけになり、とても意義のあるものだったと思います。また6月からは、1期生の方達と一緒に、実際に庭を見ながら具体的にどのようにするかを、皆で考えて話し合っています。1期生の方達のガーデニングのすばらしい知識にも驚かされ、とても刺激されています。このようなメンバーのもとで、ワイルドバルブガーデンを、素敵で心休まる空間にしていけるお手伝いができたらと思っています。



副代表世話人
大木とし子さん

アメリカ・タルサの街並み

シカゴ空港から国内機に乗り換えて2時間ほど飛び、ハイウェイを1時間ほど走った、のどかな農村地帯に沿って広がる街タルサに1ヶ月ほど滞在しました。どこまでも続く牧草地帯とハイウェイ、壮大な緑の牧草におおわれたその上では、のんびりと草をはむ牛馬達、広い芝生の庭では、家族が疲れを癒しながら寝そべり、日光浴を楽しんでいる姿を沢山見かけました。私のみたアメリカはそんなゆったりとした大地です。町並みと周辺は住宅と庭、そして道路がバランスよく調和し、自然を上手に生活の中に取り入れており、隣接する建物も環境や景観に配慮されています。

生活している人々の自然に対する意識の高さと責任感はずばらしいと思います。又、垣根をはずして区切りのない庭は美しく、そこに住む一人ひとりのセンスとアイデアを生かし工夫をこらした庭造りが道行く人の心をなごませているようです。パブリック性が浸透し、ランドスケープとしての街づくりが印象的でした。



代表世話人
菊池成子さん



ガーデナーズ倶楽部に参加して
海浜公園には、年4,5回訪れるが、ワイルドバルブガーデンには寄らずに通過が常でした。

遠くからの友人が来た時はハーブが目的に何度か立ち寄った程度です。外の植物園、公園に無い自然に恵まれた広大な地を生かして活用したい。来春には小鳥がさえずり、自然の花が咲く小道を散策出来る日を楽しみにいろいろと、思索しながら講習会で学習しています。



副代表世話人
竹内和子さん

